

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、泌尿器科では、本学、および共同研究機関である大阪大学、岡山大学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 移植腎病理画像データを用いたAI診断システムの開発

[研究対象者] 2009年1月1日から2020年4月30日まで東京女子医科大学 泌尿器科、大阪大学 腎臓内科、または岡山大学 泌尿器科を受診し、腎移植患者で腎生検を行った方

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：病理生検標本（うち、残余があるものに限る。）

診療情報等：患者背景情報：年齢、性別、移植歴の有無

移植腎に関する情報：ドナーの年齢、ドナーの腎臓機能（例：クレアチニン値）、移植後の経過年数

臨床的指標(レシピエント)：血清クレアチニン、推算糸球体濾過量（eGFR）、尿蛋白（定量的または定性的）

組織学的評価：移植腎生検による慢性変化スコア、免疫学的異常

免疫抑制療法：使用している免疫抑制剤の種類、免疫抑制薬へのアドヒアランス状況

免疫学的リスク：ドナー特異的抗体（DSA）の有無、ヒト白血球抗原（HLA）の適合性

その他の臨床データ：移植後の急性拒絶エピソードの有無、感染症やその他の合併症

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

移植腎の病理診断を行う人工知能を開発すること。

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、解析の実行のために提供します。

〔主な提供方法〕 直接手渡し 郵送・宅配・電子的配信 その他（ ）

1. 大阪大学医学部腎臓内科・講師 松井 功

[主な共同研究機関及び研究責任者]

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 講師 松井 功

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器科病態学 教授 荒木 元朗

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年12月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 泌尿器科 准教授 平井 敏仁

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 泌尿器科 木島 佑

電話：03-3353-8111 (対応可能時間：平日9時～16時)